

メガネ21と眼鏡型フェイスシールド 自社ブランド HIRAX、通販サイト開設

平岡工業

社製商品ブランド「HIRAX」の1号商品として、通信販売サイトも立ち上げる予定。金属製の掛け時計・置時計などの自社商品も企画しており、ブランド化を図る。

自動車部品製造などのアスタック（安佐南区）、グッズ企画制作のスペースエイジ（南区）などと5月に開発したフェイスシールドは約2000個販売。夏で気温が上がり、「額に汗をかく」、「化粧や髪形が崩れる」などの改善要望が出たことから、樹脂成形の眼鏡タイプのフェイスシールドを開発することになった。6月に平岡良介専務が、同じ広島信用金庫アドバンスクラブメンバーの平本大メガネ21取締役に協力を依頼。同社の鼻当てがない「浮くメガネ」をヒントに、翼シリコン（もみあげ部への接地部品）を改良し、装着感がほとんどなくズレにくい形状にした。平岡工業は試作のため、3Dプリン



ターを導入。リケンテクノス（東京）の抗菌・抗ウイルスのリケガードフィルムFS200と、反射防止機能と高いUVカット率を付与した同FS300を使う予定。フレームは透明、スモークブラックの2色、3サイズを選べる。フレームなどの部品金型は平岡工業が製作し、県内企業に樹脂成形を依頼。ウエルストンプロモーション（中区）がモデルを使った商品画像、動画撮影で協力。1個60〜70程度と軽くし、価格は1個4000〜6000円を予定。年間1万個の販売を見込む。10月をめぐりに、フィルムとフレームと鼻当てだけのサンプルで軽量な新商品の発売も計画する。販売面で船井総合研究所のアドバイスを受け、海外販売も検討している。

HIRAXではアルミ、ステンレス、鉄など金属製の宇宙をイメージした壁掛け・置時計「スペースロックス」、自転車用スタンド、焚火台、テーブルなどを企画。ブランド名の商標登録も行う予定。